

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

<学校教育目標>

～ 夢に向かって ～

第2号

令和7年5月2日発行
さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『置かれた場所で咲きなさい』

校長 小熊 誠

毎朝正門に立つと、幸せを感じ、元気とやる気がみなぎってきます。それは、生徒たちのさわやかな笑顔と気持ちの良いあいさつを体いっぱいを感じるからです。本当にすがすがしい1日の幕開けです。学校の主役である生徒たち、このように、すでに様々な場面で、輝き始めています。この生徒たちの輝きをさらに磨き、希望で胸が膨らむ日々を送れるよう私たち教職員一同、心一つに尽力して参る所存です。保護者・地域の皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

さて新年度、土屋劇場の幕が開き、約1ヶ月が経ちました。輝き始めている生徒たちがいる一方、自分の置かれた場所が掴めず、不安を抱え、浮かない表情をしている生徒たちも出始めてしまう時期でもあります。そこで今回は、ノートルダム清心学園渡辺和子理事長の著書「置かれた場所で咲きなさい」と、私自身の話を少しさせていただきます。ちなみにこの本は、土屋の図書館にもあります。どうぞお子様に「図書館に足を運んでみれば」と声を掛けてみていただければ幸いです。

私は、剣道部の顧問になりたくて教員という職に就きました。しかし、着任した学校の剣道部にはすでに顧問がいました。しかもその剣道部は全国レベル。顧問は剣道5段の実力者でした。私は、しかたなく部員数118名、そのうち約40名が幽霊部員の陸上部の顧問を任されました。正直イヤでした。校庭の端に砂場があり、その脇が剣道場でした。私は、いつもその砂場付近で陸上部を見ていました。ちょうど5月の連休明けです。当時の女子副部長に「先生が剣道場の近くの竹刀の音が聴こえる場所にいるうちは誰も先生の言うことを聴かないよ。」と言われました。私はハッとしました。その後は、自分で有力高校や大学を回り練習方法を学びました。関西や東北、九州まで行きました。たくさんの方と知り合い、多くのことを学びました。そして今があります。渡辺和子理事長もその著書の中で、『置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へと伸ばしましょう』と書かれています。1年生は、3つの小学校を中心に進学し、新しい学級になりました。最上級生から一番下の後輩になりました。すべての授業で教科担任制となり、「教科が多い、進み方が早い」等、部活も始まり「やりたい部活がない、先輩が不安」等。小学校とはかなり勝手が違います。2、3年生も学級に「仲の良い友だちがいない・話ができる友だちが少ない・苦手な子がいる」等、授業は「試験が多いし範囲も広い・順位が上がらない」等、部活では「納得のいく役割(ポジション)ではない・レギュラーになれない・習い事との両立が厳しい」等、自分の今置かれた場所に不安を抱え、居場所を見失い、浮かない表情をしている生徒たちが出てきているかもしれません。そんな時こそ私たち脇役の出番です。学校で、家庭で、地域で、生徒たちの小さなサインを見逃さず、「置かれた場所で咲きなさい」と声を掛けていきましょう。今置かれた場所で頑張ることが必ず自分の力になります。必ず誰かが見えています。必ず誰かが認めてくれます。生徒たちの伸ばした根を認め、居場所を創り、生徒たちの輝く笑顔を支えていきましょう。それが私たち脇役の務めです。今後ともよろしくお願ひします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校